



令和元年 5 月 17 日

各 位

住 所 兵庫県姫路市飾西 38 番地 1
会 社 名 フジプレアム株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 倫長
(J A S D A Q ・ コード : 4237)
問 い 合 せ 先 執行役員 IR・広報部長 三浦 理路
電 話 番 号 079-266-6161 (代表)

平成 31 年 3 月 期 特別損失(事業構造改善費用)の計上及び連結業績における
業績予想との差異並びに剰余金の配当(期末配当)に関するお知らせ

当社は、本日開示いたしました「平成 31 年 3 月 期決算短信」において、特別損失(事業構造改善費用)を計上することといたしました。また、平成 31 年 3 月 期通期の連結業績につきまして、平成 30 年 5 月 18 日付「平成 30 年 3 月 期決算短信」にて発表いたしました連結業績予想と差異が生じました。加えて、令和元年 5 月 17 日開催の取締役会において、平成 31 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

以上のことにつきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失(事業構造改善費用)の計上について

当社の環境ビジネス部門に属する「太陽電池モジュールの製造・販売」ビジネスにつきましては、中国メーカーの台頭及び日本国内の売電単価の引下げにより、年々市場環境が厳しくなっております。

こうした状況下、当社の販売能力が過剰となっているため、今般市場の変化に合わせた経営の合理化が必要と判断し、原材料及び貯蔵品、商品及び製品の保有水準を見直し、事業構造を改善することといたしました。

科目	金額(千円)	内容
事業構造改善費用	401,151	原材料、商品及び製品等の評価損 401,151 千円

2. 平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）連結業績における業績予想との差異

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	11,002	539	614	337	11.79 円
今回実績（B）	11,436	400	431	38	1.36 円
増減額（B－A）	434	△139	△183	△299	－
増減率（％）	3.9	△25.8	△29.8	△88.7	－
（ご参考）前期実績 （平成 30 年 3 月期）	10,282	401	401	237	8.32 円

差異の理由

当社グループの主力事業である精密貼合及び高機能複合材部門におきましては、自動車用途向けの
新貼合技術を利用した受注等、売上高は好調に推移しております。一方で、価格面では厳しい市場で
もあり、当社予想の収益計上までは至りませんでした。また、環境ビジネス部門におきましては、
OEM 供給や新技術の活用によって前期より改善を行っております。

この結果、売上高、経常利益は前年実績を上回りましたが、営業利益は前回予想を 139 百万円下回
る 400 百万円、経常利益は前回予想を 183 百万円下回る 431 百万円となりました。親会社株主に帰
属する当期純利益は前述の特別損失要因等により、前回予想を 299 百万円下回る 38 百万円となりま
した。

3. 剰余金の配当（期末配当）

当社は、財務体質の一層の充実と将来の事業拡大のための内部留保を念頭に、資金状況、財務状況
及び配当性向等を総合的に勘案し、利益配分を行っていくことを目指しております。

当期の配当につきましては、6 円 00 銭とさせていただきます。

	決定額	直近の配当予想 （平成 31 年 2 月 8 日公表）	（ご参考）前期実績 （平成 30 年 3 月期）
基準日	平成 31 年 3 月 31 日	同左	平成 30 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	6 円 00 銭	未定	6 円 00 銭
配当金の総額	171 百万円	－	171 百万円
効力発生日	令和元年 6 月 28 日	－	平成 30 年 6 月 29 日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

以 上